

各 位

2019年6月14日  
北洋証券株式会社

「安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針」の2018年度の  
取組状況・成果指標（KPI）の結果、並びに「取組方針」の刷新について

北洋証券は、札幌北洋グループの一員として、お客さま第一主義の徹底に向け、「安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針」を策定し、お客さまの安定的な資産形成や資産承継の実現に向け、6つの取組方針に基づく具体的な取組を実践してまいりました。

2018年度の各取組方針に係る取組状況について、金融庁の定める比較可能な共通KPIの結果とともに報告いたします。

また、2018年10月1日の北洋銀行の子会社化に伴い、従来の「取組方針」を刷新し、新たな「取組方針」に基づいた「行動計画」および「具体的取組」を策定しましたので、お知らせします。

本方針に基づく「行動計画」および「具体的取組」を実践することで、お客さまの安定的な資産形成・資産承継を実現するとともに、「お客さま第一主義」の業務運営を企業文化として定着させてまいります。

以上

## 「安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針」に係る取組状況

2019年3月末現在

北洋証券は、札幌北洋グループの一員として、お客さま第一主義の徹底に向け、「安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針」を策定し、お客さまの安定的な資産形成や資産承継の実現に向け、6つの取組方針に基づく具体的な取組を実践してまいりました。

2018年度の各取組方針に係る取組状況について、金融庁の定める比較可能な共通KPIの結果とともに報告いたします。

### 【取組方針1】 お客さま第一に徹したコンサルティングの実践

#### ＜具体的取組＞

- お客さまの安定的な資産形成の実現につながる投資手法をご提案し、お客さまの多様なニーズにお応えするため、商品ラインナップを拡充してまいります。
- お客さまの長期的・安定的な資産形成の実現に向け、各種の積立機能等を活用し、長期分散投資の普及を図ってまいります。
- 金融に関する資格の取得を推奨する等、引続き金融のプロとしての自覚・意識醸成を図ってまいります。

#### 取組状況

- (1) お客さまの安定的な資産形成の実現につなげることを第一として、北洋銀行との連携の下、安定的な運用や積極的な運用等、様々な運用ニーズにお応えするため投資信託商品の多様化を図り、資産全体の運用効率を引き上げることを目指しております。
- (2) お客さまの多様なニーズにお応えするため、商品ラインナップを拡充した結果、2018年度において、投資信託は計143商品増加しました。  
なお、残高上位のファンド名等の詳細は、「投資信託の預かり残高上位20銘柄のコストリターンおよびリスクリターン」をご覧ください。
- (3) お客さま本位の業務運営方針を展開するにあたり、2017年7月を初回に、商品満足度、職員対応満足度、サービスについての改善点等に係るアンケートを実施させていただき、お客さまの声を業務運営にフィードバックするべく対応を開始しております。

## 【取組方針2】お客さまの利益を第一とした管理体制の強化

### ＜具体的取組＞

- お客さまに販売・推奨等する商品の選定時に、提供会社から申受ける手数料の水準等の取引条件について、商品選定・販売部門とは独立した「利益相反管理統括部門」（コンプライアンス部）が確認してまいります。
- お客さまの多様なニーズにお応えするため、当社で取扱いのない商品については、グループ会社等をご紹介します場合があります。そのような時には、お客さまからご紹介等にかかる同意を事前にいただきます。

### 取組状況

- (1) お客さま向けの「金融商品の取扱い」に関する利益相反の状況を適切に把握・管理するため制定している「利益相反管理マニュアル」に基づき、「利益相反管理統括部門」（コンプライアンス部）が商品の提供会社から申受ける手数料の水準等の取引条件について、検討・確認しております。
- (2) 当社で取扱いのない商品につきましては、当行グループ会社等をご紹介します場合、お客さまからご紹介等にかかる同意を事前にいただいております。

## 【取組方針3】手数料の分かりやすい説明

### ＜具体的取組＞

- 各種手数料にかかる考え方を明確にし、役務内容や申受け理由等を分かりやすい資料により丁寧にご説明してまいります。

### 取組状況

- (1) 投資信託においては「投資信託説明書（交付目論見書）」および「目論見書補完書面」等を使用し、お客さまにご負担いただく各種手数料、役務内容等についてご説明をしております。
- (2) また、これから投資信託の購入等を検討されているお客さま向けに商品別手数料、諸費用等を記載した「手数料等およびリスク説明について」を策定し、ホームページ上で公表しました。今後とも、分かりやすいご説明を心掛けてまいります。

## 【取組方針4】重要な情報の分かりやすい提供

### ＜具体的取組＞

- お客さまにご提案する際に使用のご説明資料について、より分かりやすくなるよう継続的に見直してまいります。
- お客さまの投資判断に必要な情報を、ホームページ等を活用しご提供してまいります。
- お客さまに分かりやすい資産運用提案ツールの充実を図ってまいります。

#### 取組状況

- (1) お客さまの投資判断に必要な目論見書、適時レポート等の充実に取り組んでいるほか、タブレットを活用した資産運用提案ツールの導入やホームページの全面的な刷新を図るなど、お客さまに分かりやすい情報の提供に努めております。

#### 【取組方針5】お客さまに寄りそったサービスの提供

##### ＜具体的取組＞

- お客さまにふさわしい適切なお提案を行うため、商品・周辺知識およびコンサルティングスキルの向上を図ってまいります。
- 投資・金融知識の向上に役立つための、ライフステージに応じた「お客さまセミナー」の開催、パソコンやスマートフォン等インターネットを活用した情報提供の充実を図ってまいります。
- 手軽に投資をはじめられるように、チャンネルの多様化を図ってまいります。

#### 取組状況

- (1) お客さまにふさわしい適切なお提案を行うためのコンサルティングスキルの一層の向上を目指し、職員に対して所要の資格取得を積極的に推奨しております。
- (2) お客さまの投資・金融知識向上のお役に立つよう、資産運用に係るライフステージに応じた「お客さまセミナー」を営業店単位で開催しております。

#### 【取組方針6】お客さま第一を実践するための体制構築

- 「お客さま第一主義」の業務運営の浸透に向け、研修カリキュラムの充実を図ってまいります。
- 外部評価等を活用して、定着度合やお客さま満足度を把握し、評価体系や研修内容へ反映させてまいります。

#### 取組状況

- (1) 職員向け研修において、FD（フィデュシャリー・デューティー）の定着を目的とした内部研修の啓蒙活動を実施しております。

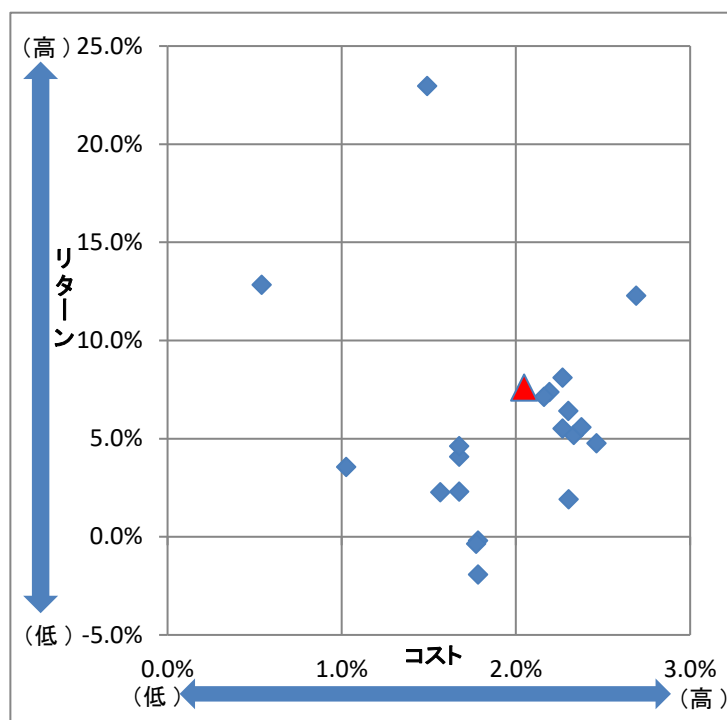
以上

「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」の状況について

## 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスクリターン

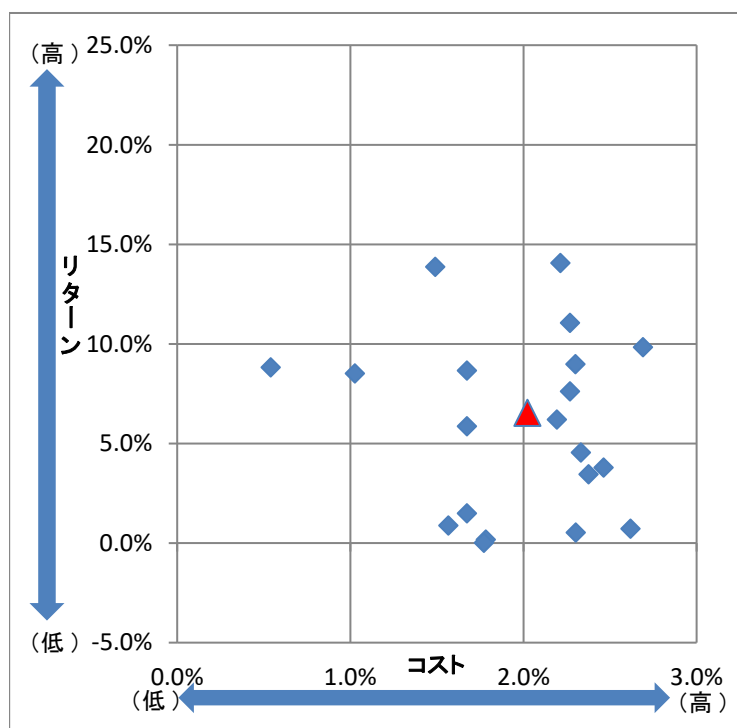
- 投資信託の預り残高上位20銘柄のコストおよびリスクの平均値につきましては、2018年3月末と比べ、コスト▲0.03ポイント、リスク▲0.3ポイントと各々低下しました。リターンにつきましては、▲1.07ポイントと低下しました。

### <コスト・リターン> 【2018年3月末】



	銘柄名	コスト	リターン
①	フロンティア・ワールド・インカム・ファンド	2.33%	5.19%
②	ひふみプラス	1.49%	22.96%
③	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.38%	5.58%
④	新光ブラジル債券ファンド	2.30%	1.91%
⑤	新光 US-REIT オープン	2.30%	6.41%
⑥	MHAM豪ドル債券ファンド(毎月決算型)	1.78%	-0.20%
⑦	日本Jリートオープン(毎月分配型)	1.67%	4.08%
⑧	日経225インデックス・オープン	0.54%	12.84%
⑨	ワールド・リート・セレクション(米国)	2.27%	5.52%
⑩	ワールド・リート・セレクション(アジア)	2.27%	8.10%
⑪	アジア・オセアニア債券オープン(毎月決算型)	1.77%	-0.36%
⑫	MHAM J-REITインデックスファンド(毎月決算型)	1.03%	3.55%
⑬	新光ピュア・インド株式ファンド	2.69%	12.28%
⑭	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	1.67%	4.61%
⑮	ダイワ高格付カナダドル債オープン(毎月分配型)	1.78%	-1.92%
⑯	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)	2.46%	4.76%
⑰	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.67%	2.31%
⑱	グローバル財産3分法ファンド(毎月決算型)	2.19%	7.37%
⑲	MHAM USハイイールドファンド(毎月決算型)	2.16%	7.13%
⑳	ワールド・ソブリンインカム(十二単衣)	1.57%	2.27%
残高加重平均値		2.05%	7.60%

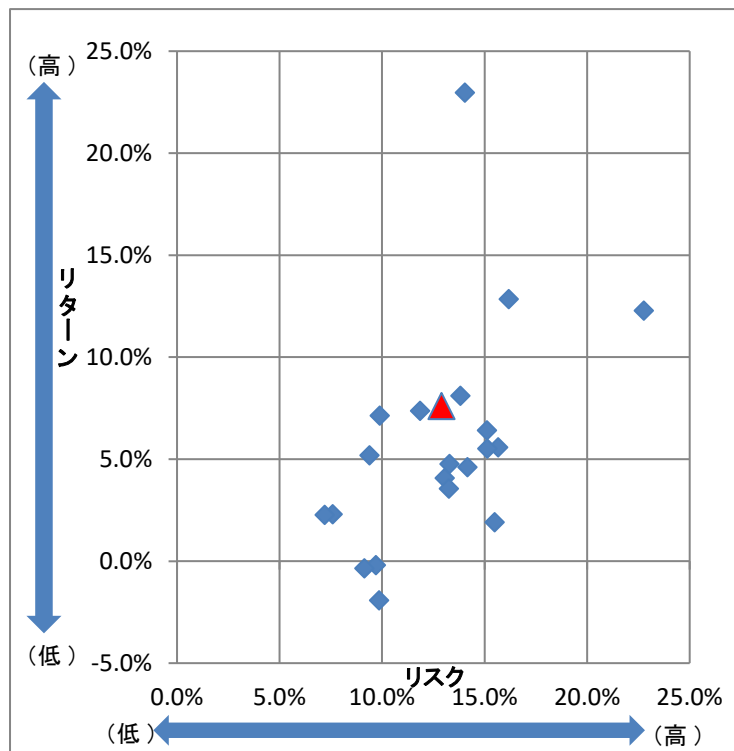
### 【2019年3月末】



	銘柄名	コスト	リターン
①	フロンティア・ワールド・インカム・ファンド	2.33%	4.54%
②	ひふみプラス	1.49%	13.87%
③	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.38%	3.46%
④	新光ブラジル債券ファンド	2.30%	0.53%
⑤	日本Jリートオープン(毎月分配型)	1.67%	8.66%
⑥	新光 US-REIT オープン	2.30%	8.98%
⑦	MHAM豪ドル債券ファンド(毎月決算型)	1.78%	0.18%
⑧	海外消費関連日本株ファンド	2.21%	14.07%
⑨	日経225インデックス・オープン	0.54%	8.82%
⑩	MHAM J-REITインデックスファンド(毎月決算型)	1.03%	8.51%
⑪	ワールド・リート・セレクション(米国)	2.27%	7.62%
⑫	イーストスプリング・インドネシア株式オープン	2.62%	0.72%
⑬	ワールド・リート・セレクション(アジア)	2.27%	11.06%
⑭	アジア・オセアニア債券オープン(毎月決算型)	1.77%	0.01%
⑮	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.67%	1.49%
⑯	グローバル財産3分法ファンド(毎月決算型)	2.19%	6.20%
⑰	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	1.67%	5.87%
⑱	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)	2.46%	3.79%
⑲	新光ピュア・インド株式ファンド	2.69%	9.84%
⑳	ワールド・ソブリンインカム(十二単衣)	1.57%	0.88%
残高加重平均値		2.02%	6.53%

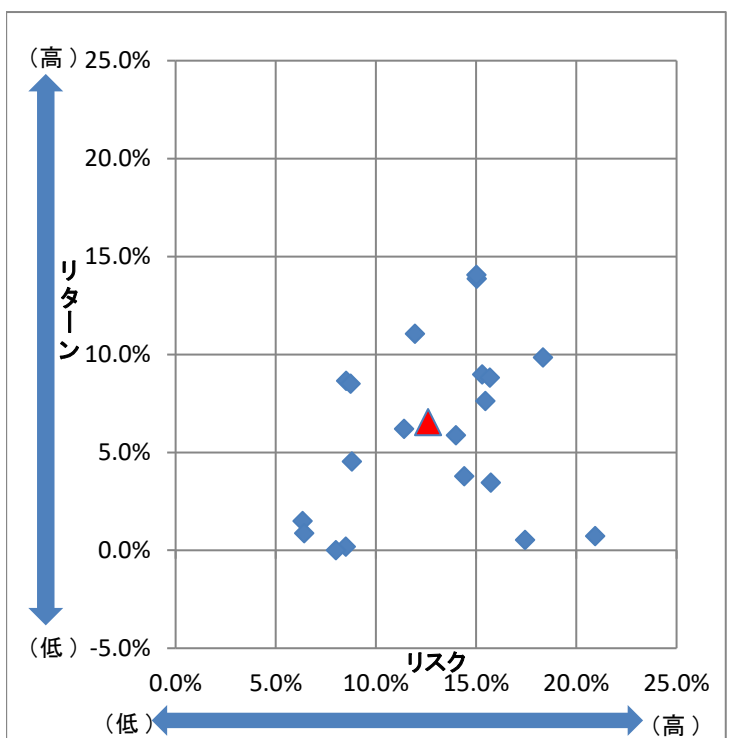
## <リスク・リターン>

【2018年3月末】



	銘柄名	リスク	リターン
①	フロンティア・ワールド・インカム・ファンド	9.38%	5.19%
②	ひふみプラス	14.03%	22.96%
③	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	15.66%	5.58%
④	新光ブラジル債券ファンド	15.49%	1.91%
⑤	新光 US-REIT オープン	15.12%	6.41%
⑥	MHAM豪ドル債券ファンド(毎月決算型)	9.70%	-0.20%
⑦	日本Jリートオープン(毎月分配型)	13.05%	4.08%
⑧	日経225インデックス・オープン	16.18%	12.84%
⑨	ワールド・リート・セレクション(米国)	15.13%	5.52%
⑩	ワールド・リート・セレクション(アジア)	13.82%	8.10%
⑪	アジア・オセアニア債券オープン(毎月決算型)	9.14%	-0.36%
⑫	MHAM J-REITインデックスファンド(毎月決算型)	13.25%	3.55%
⑬	新光ピュア・インド株式ファンド	22.76%	12.28%
⑭	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	14.17%	4.61%
⑮	ダイワ高格付カナダドル債オープン(毎月分配型)	9.85%	-1.92%
⑯	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)	13.29%	4.76%
⑰	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	7.59%	2.31%
⑱	グローバル財産3分法ファンド(毎月決算型)	11.85%	7.37%
⑲	MHAM USハイイールドファンド(毎月決算型)	9.89%	7.13%
⑳	ワールド・ソブリンインカム(十二単衣)	7.20%	2.27%
残高加重平均値		12.91%	7.60%

【2019年3月末】



	銘柄名	リスク	リターン
①	フロンティア・ワールド・インカム・ファンド	8.79%	4.54%
②	ひふみプラス	15.03%	13.87%
③	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	15.73%	3.46%
④	新光ブラジル債券ファンド	17.44%	0.53%
⑤	日本Jリートオープン(毎月分配型)	8.51%	8.66%
⑥	新光 US-REIT オープン	15.30%	8.98%
⑦	MHAM豪ドル債券ファンド(毎月決算型)	8.49%	0.18%
⑧	海外消費関連日本株ファンド	15.01%	14.07%
⑨	日経225インデックス・オープン	15.68%	8.82%
⑩	MHAM J-REITインデックスファンド(毎月決算型)	8.73%	8.51%
⑪	ワールド・リート・セレクション(米国)	15.46%	7.62%
⑫	イーストスプリング・インドネシア株式オープン	20.93%	0.72%
⑬	ワールド・リート・セレクション(アジア)	11.95%	11.06%
⑭	アジア・オセアニア債券オープン(毎月決算型)	7.99%	0.01%
⑮	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	6.34%	1.49%
⑯	グローバル財産3分法ファンド(毎月決算型)	11.40%	6.20%
⑰	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	13.99%	5.87%
⑱	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)	14.40%	3.79%
⑲	新光ピュア・インド株式ファンド	18.33%	9.84%
⑳	ワールド・ソブリンインカム(十二単衣)	6.42%	0.88%
残高加重平均値		12.61%	6.53%

### <コスト・リターン、リスク・リターンの算出方法>

対象ファンド：投資信託の預り残高上位20銘柄(設定後5年以上)

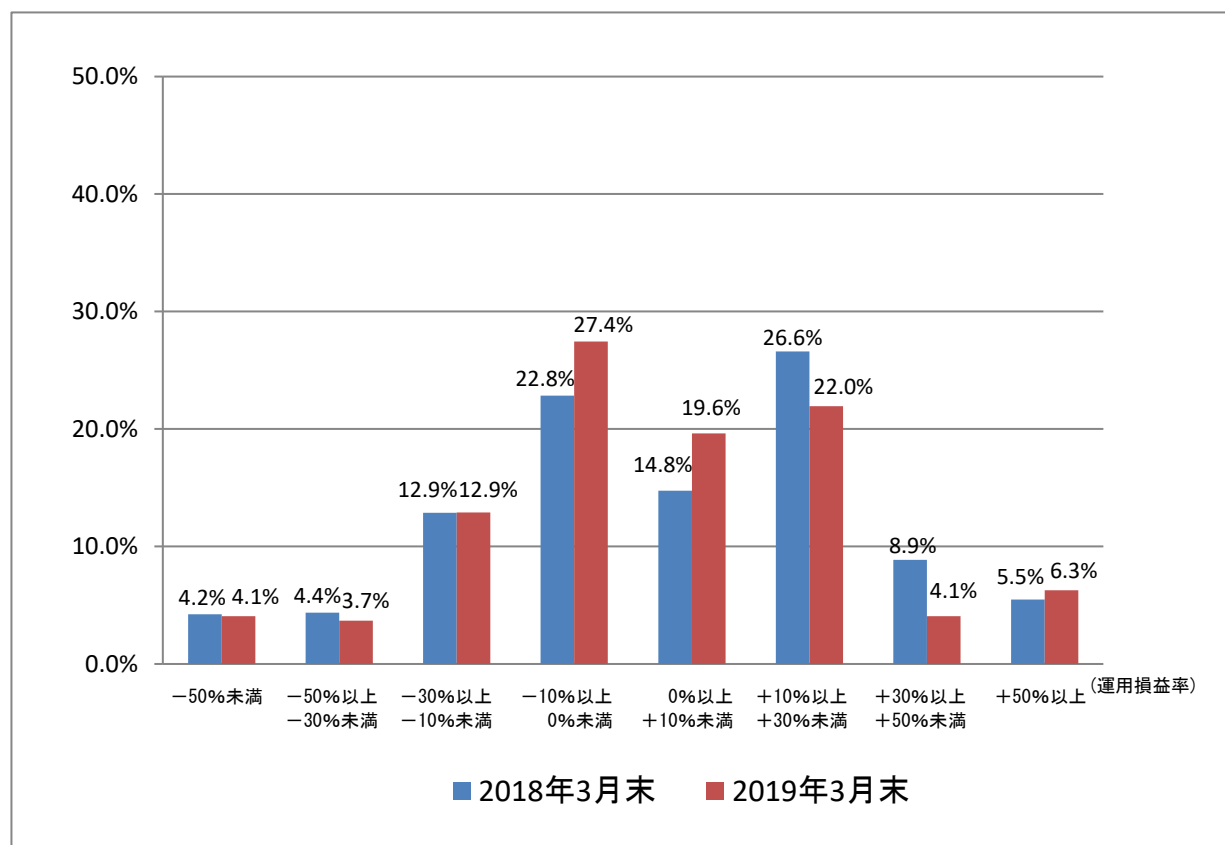
コスト：基準日時点の販売手数料率(税込み)の1/5と信託報酬率(同左)の合計値

リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

リターン：過去5年間のトータルリターン(年率換算)

## 投資信託の運用損益別顧客比率

- 2019年3月末時点では、51.9%のお客さまが運用損益がプラスとなりました。2018年3月末と比べ3.8ポイント低下しました。



### <運用損益の算出方法>

分子 : 基準日時点の評価金額+累計受取分配金(税引後)+累計売付金額  
 -累計買付金額(含む消費税込の販売手数料)  
 (基準時点までに全部売却・償還された銘柄は対象外)

分母 : 基準日時点の評価金額

遡及期間 : 当該銘柄の購入当初まで遡及

## 安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針 ～「お客さま第一主義」(フィデューシャリー・デューティー※)の徹底～

北洋証券は、札幌北洋グループの一員として、「北海道の洋々たる発展の礎となる」という経営理念を共有し、お客さまの安定的な資産形成や資産承継の実現に向け、すべての職員が一丸となり、お客さまへ最適なサービスをご提供するためコンサルティング能力の向上への取り組みを継続してまいります。

また、北洋銀行の中期経営計画「『共創』～地域、お客さまとともに新たな100年へ～」(2017年度～2019年度)における、「お客さま第一主義」を徹底し、お客さまと共通する価値を創造することを基本方針といたします。

この基本方針を実践するとともに、今後もお客さまのライフステージ等に応じたコンサルティングを通じて、最適な商品やサービス・情報等をタイムリーにご提供していくため、以下の6項目を「取組方針」として策定し、公表いたします。

さらに、それぞれの「取組方針」に基づいた「行動計画」および「具体的取組」を定め、実践してまいります。

また、その取組状況を定期的にモニタリングし、お客さまのご意見・ご要望も反映させていただきながら、継続的な見直しを図るとともに、それらの結果について成果指標等を含めて公表してまいります。

※フィデューシャリー・デューティーとは、お客さまのニーズを正確に捉え、適切な説明や情報提供を実施し、お客さまの意向や利益に真に適う金融商品やサービスを提供することをいいます。

### 取組方針1 お客さま第一に徹したコンサルティングの実践

#### ＜行動計画＞

- 中長期的な視点に立った資産運用をご提案し、お客さまの安定的な資産形成と、最善の利益の実現を図ってまいります。
- 全職員が常にお客さまの最善の利益を意識したコンサルティングを実践し、「お客さま第一主義」の業務運営を企業文化として定着させてまいります。
- 金融のプロとして、お客さまの知識・経験・財産の状況を適切に把握し、ニーズに沿った最適な商品をご提案してまいります。

#### ＜具体的取組＞

- お客さまの安定的な資産形成の実現につながる投資手法をご提案し、お客さまの多様なニーズにお応えするため、商品ラインナップを拡充してまいります。
- お客さまの長期的・安定的な資産形成の実現に向け、各種の積立機能等を活用し、長期分散投資の普及を図ってまいります。
- 金融に関する資格の取得を推奨する等、引続き金融のプロとしての自覚・意識醸成を図ってまいります。



<b>取組方針 2 お客さまの利益を第一とした管理体制の強化</b>
<p>&lt;行動計画&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●お客さまの利益を保護するため、利益相反の可能性のある取引を適切に把握・管理する体制を整備し、その有効性および適切性を定期的に検証してまいります。</li> </ul>
<p>&lt;具体的取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■お客さまに販売・推奨等する商品の選定時に、提供会社から申受ける手数料の水準等の取引条件について、商品選定・販売部門とは独立した「利益相反管理統括部門」（コンプライアンス部）が確認してまいります。</li> <li>■お客さまの多様なニーズにお応えするため、当社で取扱いのない商品については、グループ会社等をご紹介します場合があります。そのような時には、お客さまからご紹介等にかかる同意を事前にいただきます。</li> </ul>

※公表日時点で、当社では利益相反の可能性について注意を要する、商品組成・商品運用会社（部門）は有しておりません。

<b>取組方針 3 手数料の分かりやすい説明</b>
<p>&lt;行動計画&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●お客さまにご負担いただく手数料について、丁寧かつ分かりやすくご説明してまいります。</li> <li>●また、お客さまに直接ご負担いただく費用ではない場合でも、当社が商品提供会社より受け取る手数料等についても、丁寧かつ分かりやすくご説明してまいります。</li> </ul>
<p>&lt;具体的取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■各種手数料にかかる考え方を明確にし、役務内容や申受け理由等を分かりやすい資料により丁寧にご説明してまいります。</li> </ul>

<b>取組方針 4 重要な情報の分かりやすい提供</b>
<p>&lt;行動計画&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●お客さまのライフステージに応じたニーズをしっかりと捉えるとともに、投資に関する知識および経験、投資方針等に照らして、最適なポートフォリオをご提案してまいります。</li> <li>●ご提案する金融商品・サービスの選定理由、仕組み、リスク等について、お客さまの投資判断に必要な情報を丁寧かつ分かりやすくご提供してまいります。</li> <li>●複数の機能を組合せた商品については、それぞれの特性を分かりやすくご説明してまいります。</li> </ul>
<p>&lt;具体的取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■お客さまにご提案する際に使用のご説明資料について、より分かりやすくなるよう継続的に見直してまいります。</li> <li>■お客さまの投資判断に必要な情報を、ホームページ等を活用しご提供してまいります。</li> <li>■お客さまに分かりやすい資産運用提案ツールの充実を図ってまいります。</li> </ul>

## 取組方針5 お客さまに寄りそったサービスの提供

### ＜行動計画＞

- お客さまのライフステージに応じた商品を選定し、お客さまにふさわしい商品のご提案に努めてまいります。
- お客さまの状況（年齢、投資経験の有無等）や、商品の特性を踏まえ、ご説明する商品・サービスのご理解の状況等を確認しながら、ご提案してまいります。
- 多様なチャネルを用い、お客さまの金融・投資知識の向上に役立つサービスや情報等のご提供に努めてまいります。

### ＜具体的取組＞

- お客さまにふさわしい適切なお提案を行うため、商品・周辺知識およびコンサルティングスキルの向上を図ってまいります。
- 投資・金融知識の向上に役立つための、ライフステージに応じた「お客さまセミナー」の開催、パソコンやスマートフォン等インターネットを活用した情報提供の充実を図ってまいります。
- 手軽に投資をはじめられるように、チャネルの多様化を図ってまいります。

## 取組方針6 お客さま第一を実践するための体制構築

### ＜行動計画＞

- 「お客さま第一主義」の業務運営の浸透に向け、職員への教育・研修を充実させ人材の育成に努めてまいります。
- お客さまの安定的な資産形成と、最善の利益の実現につながる取組等を評価体系に組み入れて、「お客さま第一主義」を徹底してまいります。
- 各取組方針の実効性を高めるための、適切なガバナンス体制の構築に努めてまいります。

### ＜具体的取組＞

- 「お客さま第一主義」の業務運営の浸透に向け、研修カリキュラムの充実を図ってまいります。
- 外部評価等を活用して、定着度合やお客さま満足度を把握し、評価体系や研修内容へ反映させてまいります。

以上